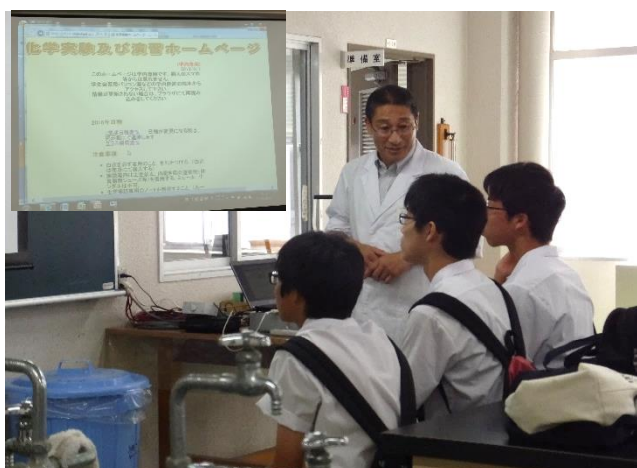


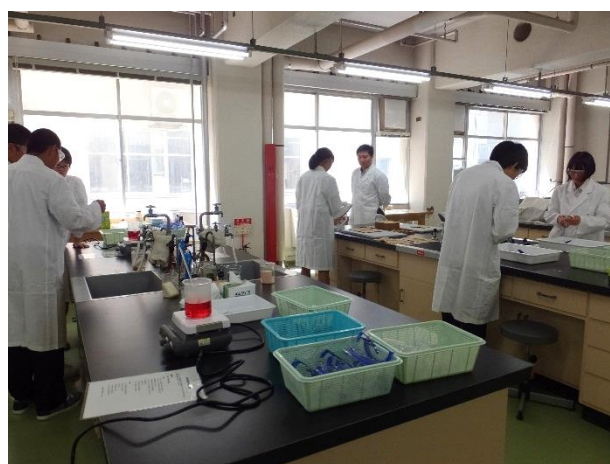
オープンキャンパス2016

会場： 長岡技術科学大学 一般化学実験室
 日時： 平成28年8月6日(土) 10:00~15:30
 主催： 長岡技術科学大学
 参加者数： 約813名 (ブース参加者数：32名)
 対象者： 小中高校生、高専生及び保護者
 技術職員： 5名 (および学生補助(TA)：3名)

テーマ：「大学の化学実験ってどんなことやってるの？」
 全課程学部1年生が履修する化学実験及び演習、物質材料工学課程2年生、3年生が履修する物質材料工学基礎実験、材料開発工学実験の紹介と、繊維の種類と染色の関係、蛍光X線分析装置による成分元素分析の体験実験を実施した。



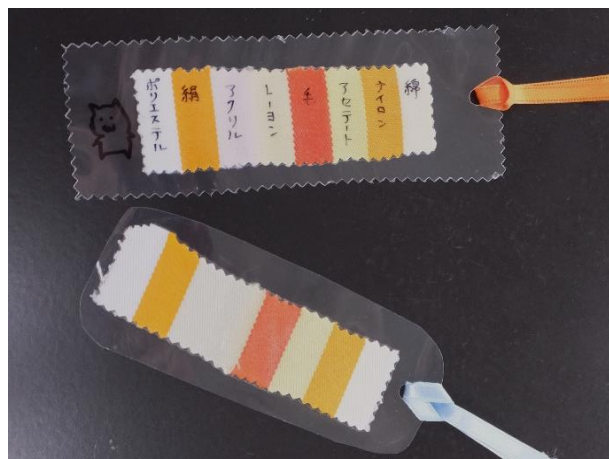
学部1年生、物質材料工学課程の実験・演習の概要と実験テーマの紹介。



実際に1年生が合成したメチルオレンジを使って多織交織布に染色し、しおり作りをしている様子。



蛍光X線分析装置の説明と分析原理を解説し、江戸時代の通貨やアクセサリーの成分元素分析を高専生が装置を操作して体験した。



メチルオレンジで染色した多織交織布をしおりにしてお持ち帰り。

体験実験では、実際に授業をサポートしている修士学生のティーチングアシスタント(TA)3名も指導を担当し、授業の様子や内容、大学生活についても説明してもらった。実験・演習の紹介では、基礎実験に始まり専門性の高い実験へと進められる過程と実験テーマを説明し、学生のサポートとして技術職員が大きな役割を果たしていることも知っていただけた。

